

令和5年10月6日

桜川市長 大塚 秀喜 様

桜川市生涯学習センター及び桜川市立図書館
指定管理者選定委員会

桜川市生涯学習センター及び桜川市立図書館指定管理候補者（案）選定結果報告書

桜川市生涯学習センター及び桜川市立図書館指定管理者選定委員会は、本件プロポーザル審査基準に基づき、慎重かつ公正に審査した結果、下記の通り指定管理候補者(案)を選定しましたので報告いたします。

1 募集概要

- (1) 受付方法 公募
(2) 受付期間 令和5年8月10日から令和5年9月22日まで
(3) 指定期間（予定） 令和6年11月1日から令和11年3月31日まで

2 応募状況

図書館流通センター・アビック共同事業体 他2者

3 審査概要

- (1) 桜川市生涯学習センター及び桜川市立図書館指定管理者選定委員会において、申請書類の審査や申請者のプレゼンテーションにより、選定基準ごとに採点し、総合評価により最も得点の高い申請者を指定管理者の候補（案）として選定する。

(2) 選定委員

役職	職名
委員長	学識経験者（博物館・図書館）
副委員長	桜川市副市長
委員	学識経験者（図書館）
委員	桜川市議会 議長
委員	桜川市議会 文教厚生常任委員会
委員	桜川市校長会代表
委員	社会教育委員会代表
委員	桜川市総務部長
委員	桜川市教育委員会 教育部長

(3) 選定経過

令和5年8月10日から市のホームページにて指定管理者の募集を開始し、令和5年9月22日の募集締め切りまでに3者からの申請があった。

令和5年9月29日開催の選定委員会において、応募のあった3者の提案書及びプレゼンテーション（説明15分 質疑応答10分）を行い、選定基準をもとに審査・採点を実施、9名の委員の平均点が最も高い応募者を候補者（案）とした。

4 審査結果

(1) 指定管理者の候補者（案）

図書館流通センター・アビック共同事業体

(2) 採点結果（得点は平均点）

選定基準		配点	1位	2位	3位
ア	1-(1)管理運営の基本方針	10	7.8	6.4	5.8
	1-(2)平等な利用の確保	10	8.2	6.4	5.8
	2-(1)効用を最大限に発揮すること	20	17.3	11.6	8.0
	2-(2)サービスの向上	30	25.3	17.3	12.7
	2-(3)施設コンセプトを活かす提案	20	18.2	11.1	6.7
	2-(4)適切で効率的な管理運営	20	14.7	12.0	10.2
	3-(1)人的体制	10	7.8	6.2	5.1
	3-(2)財産的基礎	10	7.1	6.2	5.3
イ	市長等が必要と認める事項	20	16.4	12.0	10.2
ウ	価格点	50	36.6	37.9	45.0
	合計点	200	159.5	127.2	114.8

※各委員の合計点の少数第一を四捨五入しているため、上記各項目合計と一致しない場合がある。

(3) 提示価格

図書館流通センター・アビック共同事業体

- ・総額：662,500千円（4年5か月）
- ・単年度：150,000千円

以上により、図書館流通センター・アビック共同事業体を指定管理者の候補（案）として選定した。

5 審査講評

【全体講評】

今回の審査では3者からの提案があった。

その中でも1位となった事業者は、提案の積極性、独自提案の魅力、図書館運営や開館準備に当たっての具体性、市の求める図書館像の理解度など、他の2者より明らかに優れた提案であった。

他の2事業者に関しては、図書館運営については十分な実績があり、従来型の図書館を運営する上では問題はないであろうとの意見はあったが、一方で桜川市の求める新たな施設のコンセプトを実現するための提案に具体性が欠けており、また収支計画書にもデジタル関連の費用等の計上漏れが見受けられる等、見積額の信頼性が不足していた。

本件においては市の求める「知識と文化を集積し、夢や感動に出あうことができる柔軟で多様な学びの場を提供する新しいライブラリー&デジタルミュージアムの創出」という未来型の図書館像と、公民館機能が図書館機能と一体となることで実現する優れた総合生涯学習施設の実現という難しいテーマが掲げられたことから、業務仕様や設計書の概要、募集要項などの各種資料をどれだけ理解し、積極的かつ具体的に提案できたかで評価が分かれる結果となった。

【指定管理候補者（案）となった事業者提案について】

今回優先交渉権者となった「図書館流通センター・アビック共同事業体」は、構成事業者である株式会社図書館流通センターが公共図書館の豊富な運営経験を持ち、図書館関連のあらゆる業務に精通していること、またもう一方の構成事業者である株式会社アビックについても、多くの公共施設管理実績を持つ他、県内の図書館においても現在、管理運営を担っていることから、実績面では申し分の無い事業者と言える。

提案書においては、市の示した施設コンセプト及び業務仕様等について、最も内容を理解しつつも事業者独自の提案を豊富に交え、本施設で特徴的なブックマウンテンやクリエイティブハブ等の活用の具体策や、電子図書を使った学校との連携充実、桜川市独自の魅力を活かしたコンテンツ展開など、想定以上の新たな図書館の姿を示していただいた。

また、プレゼンテーションにおいては、管理運営の中で実現していきたい内容を具体的に説明いただいたのと同時に、市と共に新たな図書館を作り上げるという熱意が感じられた。

今後は市と協議を重ね、提案いただいた開館準備計画を元に滞りなく開館までの準備を進めていただくとともに、開館後は提案書に記載された様々な提案を実現させ、桜川市の学習環境の充実に貢献していただきたい。